

令和元年東日本台風における 災害復旧工事の進捗状況について (渋井川・身洗川)

令和3年1月29日

宮城県河川課

災害復旧事業【鳴瀬川水系渋井川】（大崎市）

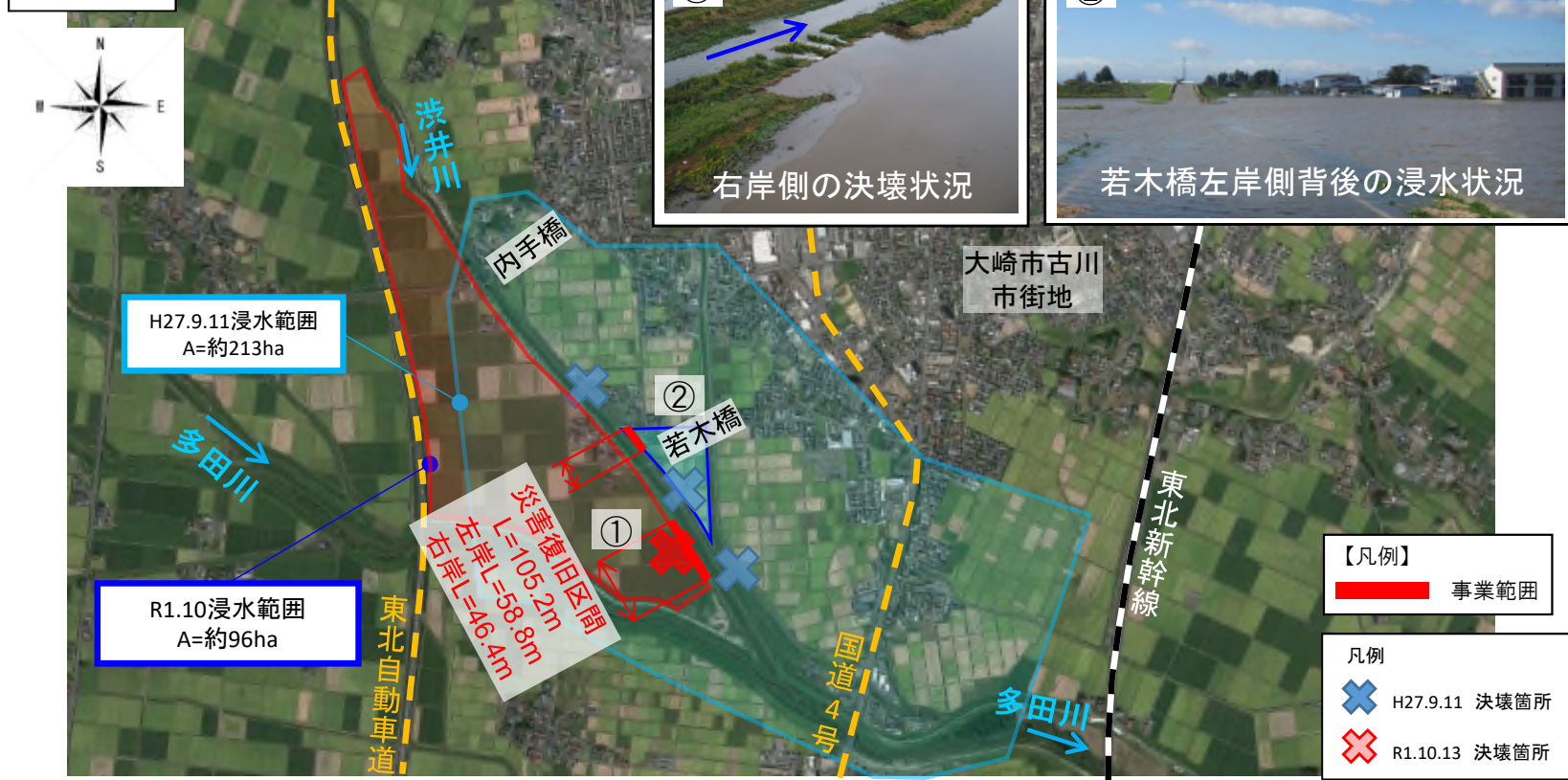
鳴瀬川水系渋井川は大崎市内の住宅密集地を流下しており、鳴瀬川本川の背水の影響を受けやすく、令和元年東日本台風による出水により堤防が決壊し、浸水面積96ha、床上8棟、床下8棟の被害が生じている。
このため、災害復旧事業により築堤工，法覆護岸工，ドレーン工，天端舗装を実施した。

位置図



【全体計画】
 河川名：一級河川鳴瀬川水系渋井川
 事業内容：築堤工，法覆護岸工，ドレーン工，天端舗装等
 事業費：約150百万円
 工期：R2. 5～R3. 3
 施工地：大崎市

平面図



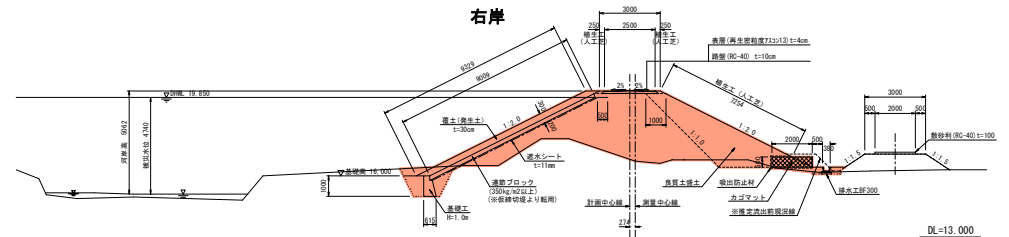
浸水戸数

洪水履歴	床上		浸水面積 (ha)	備考
	浸水戸数	浸水家屋		
昭和61年8月 台風10号	609戸	(浸水家屋)	362ha	多田川流域
平成2年9月 台風20号	31戸	(浸水家屋)	24ha	多田川流域
平成27年 関東東北豪雨	100戸	300戸	213ha	
令和元年 東日本台風	8戸	8戸	96ha	暫定値

現在の工事の状況写真（決壊箇所）



決壊箇所の標準横断面図（施工箇所赤着色）

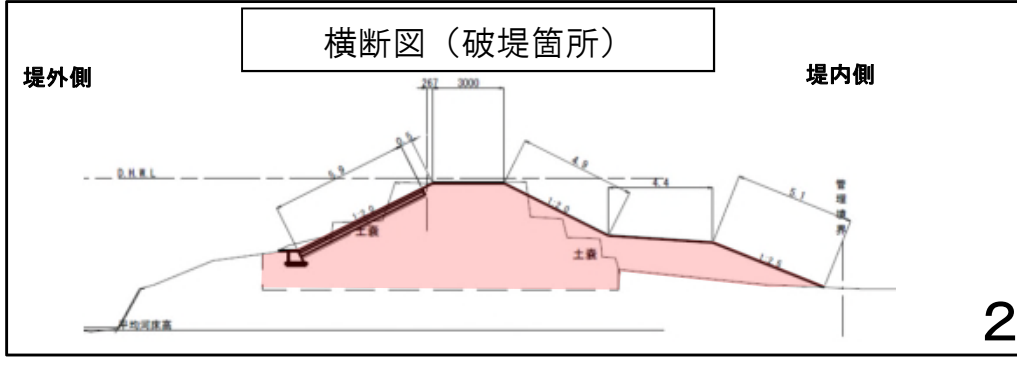
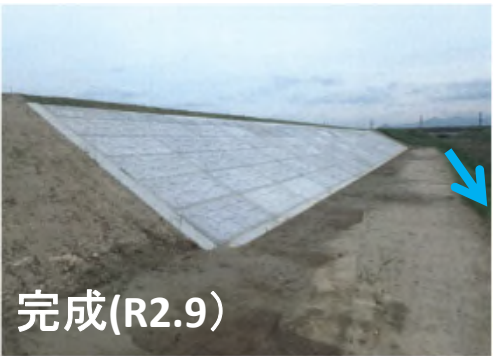


災害復旧事業【鳴瀬川水系身洗川】（大和町）

鳴瀬川水系身洗川は、宮城県の中中部、大和町を貫流する河川であり、令和元年台風19号の出水による堤防決壊及び越流により、浸水面積90ha、道路冠水L=0.6km、床下浸水11戸の被害が生じた。
このため、災害復旧事業により築堤工及び法覆護岸工を実施した。



- 【全体計画】
- 河川名 : 一級河川鳴瀬川水系身洗川
 - 事業内容 : 築堤工、法覆護岸工等
 - 事業費 : 約30百万円
 - 工期 : R元. 10~R2. 9
 - 施工地 : 大和町

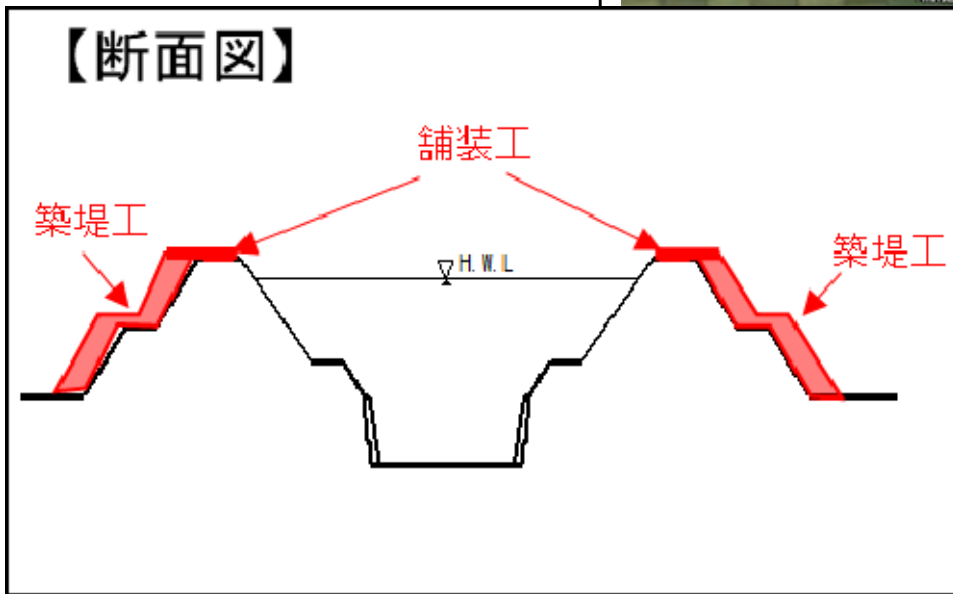
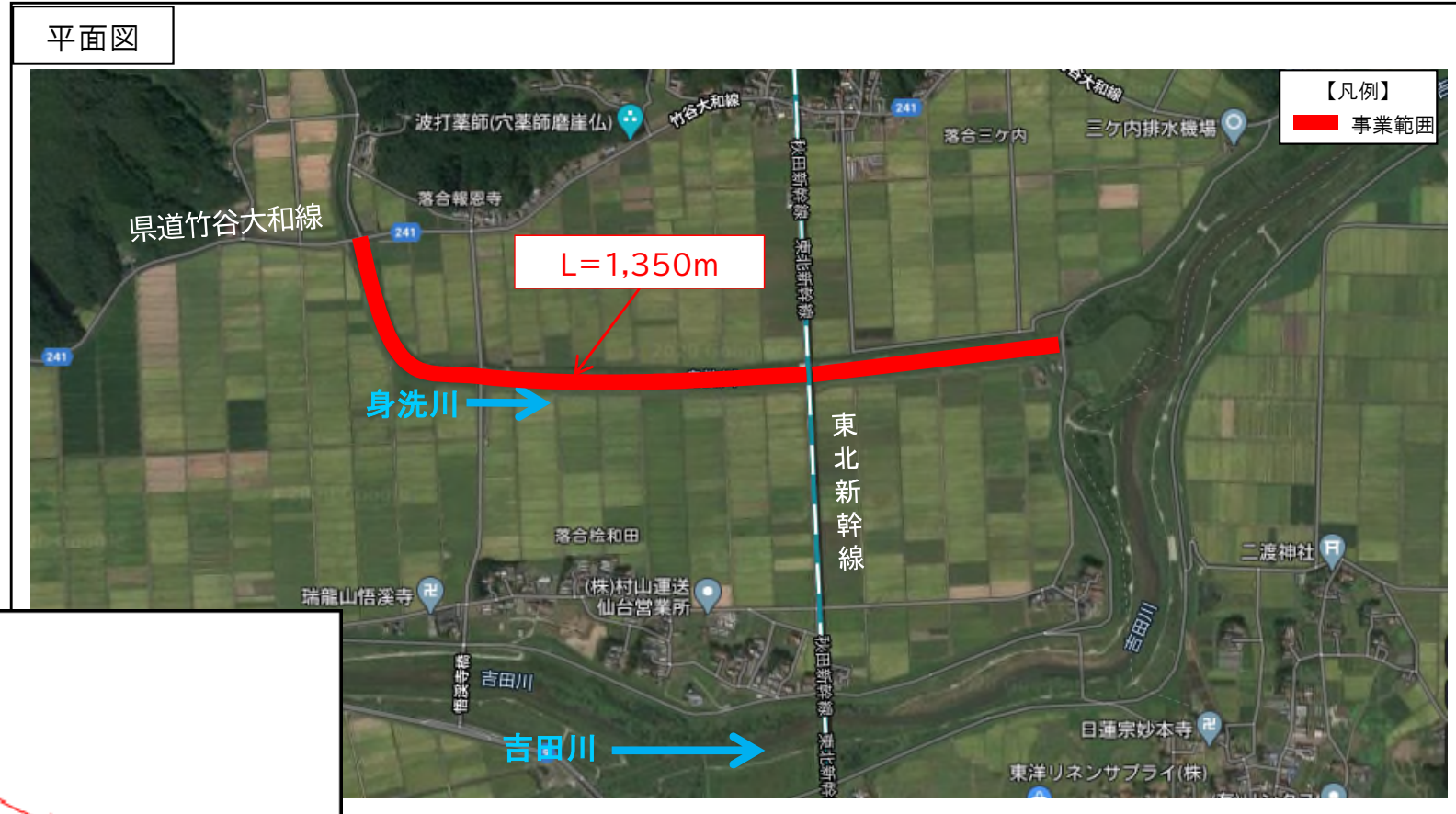


R元.10 被災状況

浸水面積	90ha
道路冠水(町道)	L=0.6km
床下浸水	11戸
床上浸水	0戸

鳴瀬川水系身洗川における大規模自然災害対策の推進について（大和町）

鳴瀬川水系身洗川では、洪水氾濫等による災害から生命、財産を守るため、築堤工等を実施している。
今年度に入り関係者との合意形成が図られたことから、推進費を活用し今年度に築堤工等を実施することで、地域住民の安全・安心を早期に確保する。



【工事計画】
河川名 : 一級河川鳴瀬川水系身洗川
事業内容 : 築堤工（裏腹付け盛土），天端舗装工
事業費 : 約122百万円